

【短歌・俳句・川柳・詩】記入上のきまり

《 書く前に必ず読んでください 》

- 1 短歌・俳句・川柳は5首5句とし、詩は1篇（35行以内）をお守りください。
- 2 短歌・俳句・川柳は原稿用紙1枚、詩は規定の原稿用紙2枚以内（35行以内）です。
- 3 原稿は「**縦書き**」で「**楷書で正しく、ハッキリと**」清書してください。なお、ワープロ・パソコンでもさしつかえありませんが、原稿用紙の記入の仕方や文字数、行数を必ず守ってください。（**原稿用紙の行数と文字数 ⇒ 縦書き 24字×20行**）
※記入にあたっては裏面の記入例を参照してください。
- 4 文章は原則として現代仮名遣い、常用漢字を用いてください。（短歌・俳句・川柳はこの限りではありません）
なお、短歌・俳句・川柳については、どちらの仮名遣いにするか、部門名の上に「現」または「旧」と明記してください。
漢字の特別な読み方の場合は、振り仮名をつけてください。
- 5 原稿用紙『右上端』のワクの中に、短歌・俳句等の参加部門を書き入れてください。
題名は**2行目**に、氏名（またはペンネーム）は**4行目**に、本文の書き出しは6行目から書き出してください。
- 6 短歌・俳句・川柳の場合、5首（5句）は**それぞれ1行空けて**ください。詩の場合、「」や（）は**それぞれ1字とみて各1マス使用**してください。（行末の場合を除く）
- 7 1枚目の原稿用紙『左端』に、部門・氏名・住所・電話番号等を必ずご記入ください。（年齢については、任意で記入をお願いします。）
また、横書き枠内には自分宛の郵便番号・住所、氏名をハッキリと部門毎に書いてください。
貴方さまへのお知らせに使います。（これ以外の使用はありません）
- 8 メールで応募する場合は、件名は「文芸むらかみ第16号作品投稿」とし、本文に、部門名・氏名・ペンネーム（掲載希望の場合）・住所・電話番号を明記してください。
※作品はメール本文ではなく、必ず添付ファイルで送信してください。

【お願い】・・・もう一度確認していただき、以上のきまりを必ずお守りください。
募集要項やこのきまりに沿っていない場合、受付ができず、修正のお願いや、一度お持ち帰りいただく場合があります。
締め切り間際は窓口が混雑します。また、修正などお願いする場合がありますので、余裕を持った提出に御協力ください。

【記入例】 短歌・俳句・川柳・詩

現・旧いずれかの
仮名遣いを記載（詩は不要）
部門名
「旧」 短歌

文芸むらかみ原稿用紙

24 字 × 20 行

題名を書く
名前を書く
書き出し

題 名

文芸誌の記載名になります ↓ 名前またはペンネーム

良い例

みづうみの氷は解けてなほ寒し三日月の影波にうつろ
ふ

← 1 首（句）毎に 1 行あける

我が家の犬はいづこにゆきぬらむ今宵も思ひいでて眠
れる

※ 短歌・俳句・川柳は、5 首 5 句としてください

※ 詩は、1 篇（3 5 行以内）としてください

なるべくボールペンを使用し、

楷書で正しく、ハッキリと清書してください

俳句・川柳も、この記入例に準じてください

悪い例

みづうみの 氷は解けて ↑×句間はあけない

1枚目だけお書き下さい

電	住	ペン	氏	部
話	所	ネーム	名	門
忘れずに 記入してください (年齢は任意です)				
(歳)				

□□□□-□□□□
ご自身の 郵便番号・住所・氏名 を記入してください
村上市 様

郵便番号は必ずお書きください